

2024年度 (令和6年度) 年次報告書

特定非営利活動法人
京都地球温暖化防止府民会議

(京都府地球温暖化防止活動推進センター)

2025年6月発行

目次

- 0. 法人とセンター……………P.1
- 1. 地球温暖化防止府民活動推進事業 ……P.3
- 2. 再生可能エネルギー普及支援事業 ……P.9
- 3. 市町村と連携した地域脱炭素推進事業 …P.11
- 4. その他……………P.14



0 法人とセンター

● 私たちが目指すのは、「脱炭素型のステキな京都」です

2024年度は、世界の平均気温は史上最高を更新し、パリ協定で目標としていた産業革命前の水準と比べて1.5℃を単年で超えた(WMO 1/10発表)初めての年となりました。

気候変動を少しでも進ませないために、京都府で今できる家電の買替、住宅の断熱化、事業者の脱炭素経営強化に重点を置き、実際の取組に発展する行動変容を注視しながら、より一層の府内温室効果ガス排出の削減へ向けて活動を展開しました。

脱炭素化対応での断熱でエネルギーが少なく済む家は、暖かくて健康にも家計にも優しく、公共交通が残る街は、子どももお年寄りも移動がしやすい街です。その変化は、我慢や努力を強制するものではなく、私たちが望む住みやすい地域づくりであり、脱炭素型のステキな京都をつくりだすことにつながっていきます。



Vision

脱炭素型のステキな京都

Mission

ビジョン実現に向け、各々の立場を活かして取り組む担い手を増やし、担い手同士をつなぐなどして、その活動を活性化すること

Action

- ①担い手のサポート
- ②モデル的な取組づくり
- ③対策の面的展開

法人及びセンター役員 (2025年3月31日現在・敬称略)

- 理事長：松原斎樹(センター長・京都府立大学)
 副理事長：田浦健朗(副センター長・NPO法人気候ネットワーク)
 専務理事：木原浩貴(副センター長・たんたんエナジー株式会社)
 理事：兒島宏尚(京都商工会議所)
 ： 洲上佑樹(三重大学)
 ： 的場信敬(龍谷大学)
 ： 溝内啓介(NPO法人コンシューマーズ京都)
 ： 味田佳子(NPO法人エコネット丹後)
 ： 宗田好史(関西国際大学)
 ： 本永治彦(京都工業会)
 ： 森田雅子(京都府連合婦人会)
 監事：清水仁志(税理士)
 ： 松田直子(株式会社Hibana)
 顧問：浅岡美恵、郡嵩孝、原強

● 法に基づき、府知事による指定を受けて活動しています

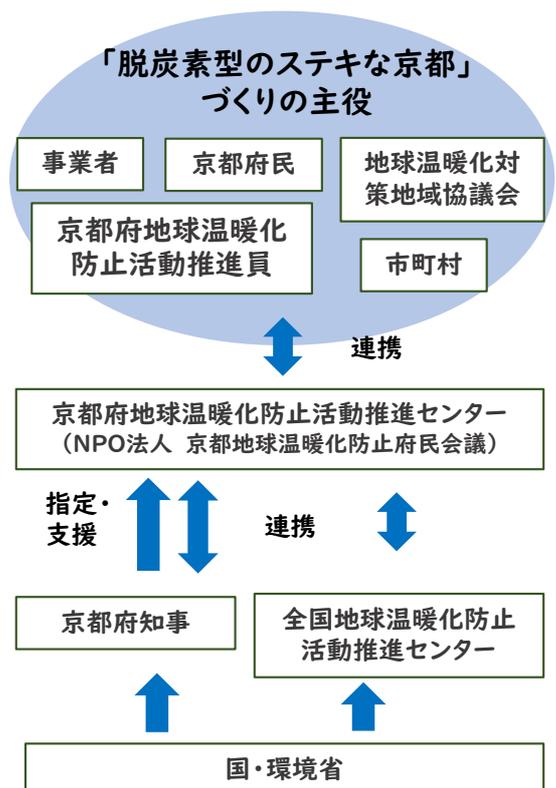
NPO法人京都地球温暖化防止府民会議は、2003年10月に、地球温暖化対策推進法に基づき京都府知事より京都府地球温暖化防止活動推進センターに指定されました。

センターの指定は全国で18番目となり、**センター運営のための法人を新たに設立したのは、全国初の試み**でした。

京都府地球温暖化対策条例には、「府は、京都府地球温暖化防止活動推進センターが、地球温暖化対策を担う**中核的支援組織**として、事業者、府民及び環境保全活動団体の積極的な取組を促進する役割を果たすことができるよう、その支援に努めるものとする」と記載されています。

私たちは、環境保全のための1団体ではなく、府知事指定の中間支援組織として、皆様との連携のもとに活動をすすめています。

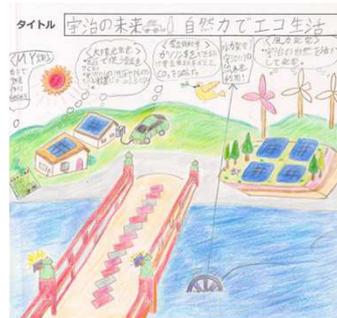
以降、本冊子では下記のように表記します。
 京都府地球温暖化防止活動推進センター→センター
 京都府地球温暖化防止活動推進員→推進員
 地球温暖化対策地域協議会→地域協議会



つながり・つくる・広げる ～これまでの代表的活動～

夏休みのこどもたちの宿題の定番、**夏休みCO₂ゼロチャレンジ**(旧:夏休み省エネチャレンジ)は、累計で**237,345世帯**(2003年～2024年)が参加してくれました。

未来を描く子どもたちの発想は、将来の京都の脱炭素地域をつくる原動力となっていきます。



研究者らとともに地域エネルギー会社「たんたんエナジー」の立ち上げ・運営を支援し、地域のエネルギー政策を推進しています。たんたんエナジーは、福知山市の全小中学校をはじめとする公共施設に対し、主に丹波地域で作られた再エネ電力を供給している他、中学校等の屋根を活用した「**市民出資型再エネ発電所+防災拠点づくり**」を行っており、その設置規模は約600kWに達しています。



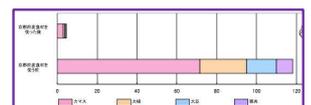
「京のアジェンダ21フォーラム」の社会実験から始まった**家電製品省エネラベル**。センターは、市町村やNPO、推進員との連携で、これを京都府全域へ、そして全国へと拡大。資源エネルギー庁の委員会に委員を派遣し、現在の「統一省エネラベル」制度づくりに参画しました。



京都府の「**ウッドマイレージCO₂を組み込んだ京都府産木材認証制度**」に制度設計段階から参画。平成16年の制度立ち上げ以降、約4,400通の証明書を発行。のべCO₂削減量は5,000トンにも。京都府産木材利用の拡大と、木材輸送によるCO₂削減に取り組んできました。



KGPNや行政機関との連携で、学校給食や社員食堂での「**旬の京都府産食材**」の利用拡大キャンペーンを実施。一次産業の活性化と食材輸送によるCO₂削減に取り組んできました。フード・マイレージCO₂を計算したところ、90%以上削減された実績がいくつも確認されています。



京都シニアベンチャークラブで行われていた**中小企業の省エネ無料診断活動**は、センターで行っていた府内の先進的取組を競うコンテスト「**きょうとECO-1グランプリ**」をきっかけに京都府の施策になり、今でも継続されています。



様々な方々とつながり、事例をつくり、活動を広げて、**脱炭素型のステキな京都へ** あゆみを続けています。

府民活動推進

京都府地球温暖化防止府民活動推進事業

● 情報発信

インターネットを利用し、ホームページと様々なSNSを駆使して情報発信を行いました。

月に1回のKCFCAニュースで、センターの活動・温暖化の最新情報・地域のイベント情報を配信しました。

季刊で「Webうおーみんぐ」と題し、温暖化関係の特集記事と、推進員の活動紹介を掲載して発信。また、Webうおーみんぐを広報するチラシを印刷配布しました。



各SNS等への登録は裏表紙をご覧ください。

● 情報発信のサポート・啓発グッズ貸出

パネルや、手回し発電機などの啓発グッズを多くのイベントや授業で、推進員や教員の皆様にご活用いただきました。特に射的やわなげのエコ縁日用の貸出は大人気でした。



啓発グッズ貸出回数 **88回**
貸出アイテム数 **のべ 750アイテム**



貸出啓発グッズの一覧や貸出方法は、
<https://www.kcfca.or.jp/tool/>

● 「夏休みCO₂ゼロチャレンジ」で家族ぐるみの取組を促進



CO₂排出ゼロの未来について、家族で考える取組です。家族で立てた省エネ目標へのチャレンジに加え、「ゼロのくらしを想像する」「ゼロにするための秘密道具を想像する」「ゼロにするために将来〇〇になって〇〇をする」などの中から選んだものを、絵や文章でチャレンジシートに書いてもらいました。



↑ 児童の書いたチャレンジシート



参加学校数
109校

参加世帯数
8,838世帯

基本の対象を4年生以上とし、希望する学校を募り配布をしました。参加率の高い優秀校には、知事による表彰に加え、抽選で、協賛企業からの環境学習教材を贈呈しました。

参加賞として、CO₂ゼロの取組をイラストにした「絵合わせカード」と、「エコ家族認定証」を作成・配布しました。

夏休みCO₂ゼロチャレンジ協賛企業

株式会社イワタ・大阪ガスネットワーク株式会社・京都トヨペット株式会社・月桂冠株式会社・株式会社SCREENホールディングス・象印マホービン株式会社・たんたんエナジー株式会社・西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)・ホリモク株式会社

京都府地球温暖化防止府民活動推進事業

● 推進員活動の支援

研修会の開催、啓発資材の貸出、活動現場にうかがってのお手伝い、活動支援金のお支払いなど、様々な形で推進員の皆様の活動に関わらせていただきました。

推進員活動回数は、報告されたもの、かつ対外的な活動だけで、のべ1,552回に上りました。府内各地域で工夫をしながら多くの活動が展開されています。その内容も啓発活動だけにとどまらず、脱炭素型の地域づくりの活動も、推進員の皆様によって行われています。

推進員のべ活動件数 **1,552回**
報告されたものの中から、対外的な活動のみをカウント

推進員活動についてはこちら
<https://www.kcfca.or.jp/project/leaders/>



推進員活動回数一覧

活動内容	件数
イベントでの啓発	357
子ども向け出前講座	213
森林保全活動	149
事業所の省エネ相談・診断	127
メディアを使った情報発信	126
家庭の省エネ相談・診断	120
みどりのカーテン普及	97
大人向け出前講座	62
その他(地産地消、防災、廃食油回収を含む)	301
合計	1,552

推進員の活動を支援するために研修会も開催しています。

第1回推進員研修 テーマ:家庭の対策、実践してわかったポイント
(7/7京都市、YouTube限定配信)69名

第2回推進員研修 テーマ:防災と気候変動
(8/24京都市、8/26綾部市、YouTube限定配信)79名



第2回研修の様子

● 省エネ相談所・京都クールチョイス相談開催と養成研修

家庭部門でのCO₂排出を直接相談によって削減することを目的に、省エネ普及ネット・京都と連携して「省エネ相談所」を実施しました。府内7カ所、合計209名に相談を受けていただきました。さらに、家庭の省エネアドバイザーと京都クールチョイス相談員の養成研修を実施し、9名の参加がありました。



省エネ相談所の様子



養成研修の様子

京都府地球温暖化防止府民活動推進事業

● 温暖化教室

小学校・中学校・高等学校の児童生徒を対象とする出前教室を実施しました。
また、他団体が開催する学習会に講師を派遣しました。



● インターネット環境家計簿

エネルギーの使用量と使用金額、CO2排出量が見える化できる京都府インターネット環境家計簿の運営を行いました。月ごとの変化の要因を確認できるように、各月に入力できるメモ機能を追加しました。

インターネット環境家計簿→
<https://www.kyoto216.com/kakeibo/>



京都府 気候変動体験型学習教室の運営業務
日新電機グループ社会貢献基金寄附活用事業

● 気候変動体験型学習教室

主に小学4~6年生を対象に、楽しく再エネ工作をしながら地球温暖化や気候変動問題、SDGsについて学ぶ環境学習教室を行いました。京都市内、木津川市内、宮津市内の3か所で、合計53組の親子が参加。ソーラーエコハウス工作をしながら、未来のエコハウスを考えてもらう機会としました。



中学生向け環境教育用コンテンツ作成等業務

● 中学生向け環境教育用コンテンツ作成

中学校の総合の授業等で活用されることを想定した学習用コンテンツ(動画等)を作成しました。
動画は府内での気候変動対策につながる取り組みを取材し、授業での試行実施ののち作成。授業での展開シナリオ案も作成した。

大気中の二酸化炭素を減らす
農業の取り組み
～カーボンマイナス～

持続可能な食生活を目指して
フード・マイルージと
地産旬食

「建物の断熱」と「省エネ」

京都ゼロカーボン・フレームワーク優良事例発信・申請書類審査業務

● 京都ゼロカーボン・フレームワーク

京都ゼロカーボン・フレームワークの申請書の審査サポートと優良事例5社の調査・取材・発信を行った。

<優良事例5社>

株式会社鎌電、株式会社タムラ、株式会社ハート急便
株式会社浜田染工、濱田プレスエ藝株式会社

地域脱炭素・京都コンソーシアム
<https://www.pref.kyoto.jp/consortium/>



環境省補助 地域における地球温暖化防止活動促進事業

● 京都の住宅断熱キャンペーン2024

昨年度に引き続き、住宅の断熱性能をあげることで、省エネだけでなく健康面や快適性にもメリットがあることを伝えるキャンペーンを実施しました。キャンペーンチラシを工務店やリフォーム事業者、推進員等と連携して配布。イベントブース出展や学習会での啓発も行いました。



- ・住宅の省エネ性能ラベル等、新しく2種類の資料を作成しました。
- ・キャンペーン賛同事業者と連携をして情報発信しました。
- ・工務店等の施工実務者を対象とした高気密高断熱の研修会を開催しました。

● 学校断熱遮熱改修：亀岡市立詳徳中学校

亀岡市立詳徳中学校にて、生徒達の「3年1組の教室が暑すぎる、何とかしたい」という相談を受け、夏の暑さ対策と冬の寒さ対策として、遮熱効果のある内窓の設置と天井断熱を3年1組の教室で実施。実施には、生徒会の中の希望する生徒を対象としてワークショップを企画し、新しく設置する内窓の枠の木材塗装と天井断熱材の敷き込み体験を提供しました。



中学校と亀岡市教育委員会の資金により、地元の沼田工務店に内窓枠の施工と天井断熱準備作業を、リクシル京滋支社京都第一営業所に内窓設置をご協力いただき実施しました。

断熱改修効果は、教室内の複数個所の温度測定とサーモカメラ映像で検証しました。



環境省補助 地域における地球温暖化防止活動促進事業

● 家電をかしこく使おう選ぼうプロジェクト

家庭の中で特にたくさん電気を使う「エアコン」「冷蔵庫」の省エネのポイントを掲載したアンケート付きパンフレットを作成。買い替えのタイミングの方には「京都省エネ家電購入キャンペーン」を案内するなど、京都府と連携した情報発信を行いました。



● やってよかった省エネキャンペーン

脱炭素社会への受容度を高めるため、「暮らしや地域を豊かにしつつ温室効果ガスを減らすことができる」ことを発信するキャンペーンを実施。『やってよかった省エネ冊子Part2』（推進員の実体験を掲載）を活用し、ブース出展等を実施。推進員・団体等にもご活用いただきました。また、防災を切り口とした新しいチラシの作成等も行いました。



● 企業向け啓発

長田野工業団地の事業者の支援を継続実施（福知山市事業と連携）綾部市、福知山市、向日市、京丹後市、久御山町、宇治市の事業者の支援のためのアンケートを実施しました（自治体・商工会議所・商工会・京都府立大ACTORと連携）。
回収数681（約7400箇所発送 回収率9.2%）
省エネ診断の実施5件、再エネ導入検討調査の実施2件、再エネ相談の実施1件

ソーラーカーポート・ソーラーシェアリングの普及啓発及び設置支援
12月25日（水）ウェビナー「可動式ソーラーシェアリングのすすめ」開催



● 連絡調整会議

京都府内の各団体のみなさまと情報共有や意見交換を行いました。第1回「欧州の脱炭素地域づくりと市民参加」。第2回「エネシフ湖北・エネルギーエージェンシーが支える長浜市の脱炭素地域づくり」



地域における自治体等への脱炭素施策実行支援に向けた 中間支援体制のあり方検討委託業務

● 中間支援体制構築のためのモデル検討

環境省・公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)と連携して、全4回の検討会を開催。京都府内における中間支援のあり方について検討し取りまとめました。

その他

● 連携、中間支援実践

- ・京都府内市町村へ、気候変動対策に関する課題・支援ニーズについてアンケート調査を実施しました。
- ・環境エネルギー政策研究所(IEEP)の「地域にとって望ましい再エネ普及のための中間支援機能検討(地域再エネ支援プロジェクト)」の研究会に参加しました。
- ・龍谷大学の学生気候市民会議の支援を行いました。
- ・京都府立大学ACTR「府下自治体の脱炭素化を加速するための調査研究」と連携して、2050カーボンニュートラルカードゲーム等を実施しました。

「府民活動推進」の全体像と主な成果

<京都府委託 京都府地球温暖化防止府民活動推進事業>

相談窓口の設置、地球温暖化防止活動に関する情報提供（月1回KCFCAニュース発行・年4回Webうおーみんぐ配信・案内チラシ合計14,000部発行）Webサイト運営（アクセス・リーチ数488,347件）
京都府地球温暖化防止活動推進員研修会の開催（のべ5回）（推進員活動実績：1,552回）
環境教育教材を推進員・市町村等へ貸出（貸出回数：のべ88回 貸出アイテム数：のべ750個）
温暖化教室（小学校等での環境教育）（実施回数：16回、のべ参加者数：583人）
エコライフ推進（「夏休みCO2ゼロチャレンジ」8,838世帯 インターネット環境家計簿22,438人）
家庭の省エネ相談所の実施及び実施支援（実施回数：7回 参加者数：209人 支援10回）
家庭の省エネアドバイザー・京都クールチョイス相談員養成講座開催

<京都府委託 京都府気候変動体験型学習教室の運営業務>

ソーラーエコハウス工作教室を府内3か所にて実施。53組の親子が参加。

<京都府委託 中学生向け環境教育用コンテンツ作成等業務>

学習用コンテンツ 動画3つ、展開プログラム案3つ作成。

<京都府委託 京都ゼロカーボン・フレームワーク優良事例発信・申請書類審査業務>

申請書審査件数145件。優良事例5社の情報発信。

<環境省補助 地域における地球温暖化防止活動促進事業>

京都の住宅断熱キャンペーン2024（チラシやSNSで情報発信、ブース出展・学習会実施等）
工務店・実務者研修会（参加者15名）、亀岡市立詳徳中学校3年1組の断熱改修を実施
家電をかきこく使おう選ぼうプロジェクト（パンフレット3,000部、イベントやSNSで情報発信）
やって良かった省エネキャンペーン（冊子3,000部、ブース出展、防災チラシ作成等）
事業者支援（6市町の事業者を対象にアンケートを実施（681回収）、省エネ診断等を実施）
京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議の開催（2回）

<環境省・IGES委託 地域における自治体等への脱炭素施策実行支援に向けた中間支援体制のあり方検討委託業務> 検討会等

2 再エネ普及支援

京都再エネコンシェルジュ認証制度に係る支援、普及啓発業務

● 京都再エネポータルサイト運営 京都再エネコンシェルジュサポート



「京都再エネポータルサイト」の運営を行い、府内の一般家庭が再エネを導入するにあたり必要となる情報を整理し、だれもが簡単にアクセスできるようにしました。

- ・再エネ設備に関する情報
- ・府内の市町村等による再エネ導入支援策に関する情報
- ・京都再エネコンシェルジュに関する情報、等

京都再エネコンシェルジュの活動をサポートしました。

- ・再生可能エネルギー関連の情報や研修情報を共有
- ・京都再エネコンシェルジュ「ニュース」を月1回メール発行
- ・京都再エネコンシェルジュを取材、紹介記事を掲載(2件)

<https://kyoto-saiene.net/>

ポータルサイト
訪問者数 **265,165**



『京都再エネポータルサイト』インタビュー
<https://kyoto-saiene.net/interview/>



● 京都再エネコンシェルジュ啓発

知名度アップのための啓発グッズとして、オリジナルまゆまるタオルを作成(三和タオル製織株式会社(福知山市)製)。市町村や京都再エネコンシェルジュと連携してイベント等で啓発を行いました。

- ・10/26 八幡スマート祭
- ・11/17 宇治市環境フェスタ
- ・11/17 まいづる環境フェスタ
- ・2/5 京都環境フェスティバル
- ・3/9 みやづSDGsフェスタ
- ・3/9 よさの環境みらい2025



● 再エネコンシェルジュ意見交換会

京都再エネコンシェルジュが集まり、ZEHをテーマに、2つのミニ講演会・ポスターセッションを行い、意見交換の場を設けました。

講演1「地中熱ヒートポンプ・システムから学ぶ」:株式会社コロナ

講演2「発展型パワーコンディショナーとV2Hの導入について」:株式会社ニチコン



京都府住宅脱炭素化促進事業

● 京都府ZEH補助金

京都府の補助金として、府内で個人が断熱・気密性の高い省エネ住宅(=ZEH)を新築又は購入する費用に対する補助を実施しました。補助金募集要項を策定し、補助金を受け付け、交付しました。補助金交付76件(うち京都再エネコンシェルジュ上乘せ3件)。5件の現地調査実施。

4/25 補助金説明会 開催



京都府太陽光発電設備等導入促進事業補助金 (駐車場・農地等再エネ導入促進事業)に係る普及啓発及び審査等業務

● ソーラーカーポート・ソーラーシェアリング等設置支援

ソーラーカーポート及びソーラーシェアリング等の普及啓発・設置支援を行いました。オンラインセミナーと現地見学会を開催するとともに、動画とパンフレットを作成しPRしました。



- ◆オンライン「ソーラーカーポート導入セミナー(1/28)」
メーカー等によるソーラーカーポートの導入事例等を紹介 参加者74名
- ◆オンライン「ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)導入検討セミナー(1/9)」
農業法人等を対象とした営農型太陽光発電に関するセミナー 参加者26名
- ◆現地見学「ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)現地見学会(2/12)」参加者32名

自主事業 団体連携

● 市民再エネプロジェクトin京都

温暖化を防止するさまざまな活動を続けてきた団体が、市民共同発電所をさらに広げようと連携した市民再エネプロジェクト。

吉祥院こども園おひさまプロジェクト寄付募集9/1~12/31 点灯式11月

下鴨幼稚園おひさまプロジェクト寄付募集8/1~1/31 点灯式11月

市民再エネプロジェクト参加団体:NPO法人京都地球温暖化防止府民会議、認定NPO法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO法人エコネット近畿、認定NPO法人きょうとグリーンファンド



自主事業

● 地域新電力と地域エネルギー推進

地域の再エネ拡大や地域づくりを地域新電力「たんたんエナジー株式会社」と連携して支援。南丹市、福知山市において、自家消費余剰買取と地元供給を実施しました。

「再エネ普及支援」の全体像と主な成果

＜京都府委託 京都再エネコンシェルジュ認証制度に係る支援、普及啓発業務＞

住宅での再生可能エネルギー利用に関する情報整備と発信(京都再エネポータルサイトの運営)

再エネコンシェルジュインタビュー(2名)、京都再エネコンシェルジュ啓発(6回)

京都再エネコンシェルジュ意見交換会20名

＜京都府補助 京都府住宅脱炭素化促進事業＞

ZEH補助交付76件

＜京都府委託 京都府太陽光発電設備等導入促進事業補助金(駐車場・農地等再エネ導入促進事業)に係る普及啓発及び審査等業務＞

ソーラーカーポート・ソーラーシェアリング・ため池等補助金受付及び啓発 パンフレット2種・動画4本作成

＜自主事業 市民再エネプロジェクトin京都＞

設置、点灯式(2箇所)

＜自主事業 地域新電力と地域エネルギー推進＞

自家消費余剰買取の仕組みを構築(2市)

3 市町村連携

京都市 省エネ行動促進プログラム実施業務

● 家庭の省エネ診断（うちエコ診断）の実施

京都市の省エネ行動促進プログラム事業の一環で、家庭の省エネ診断（うちエコ診断）を実施。対面と書面にて診断を行いました。書面診断では、省エネに関するアンケート調査票にご記入いただき、後日それをもとに作成した診断結果報告書をご自宅へ送付しました。合計で、25団体等で実施し、467名（うち京都市民445名）に受診していただきました。

また、家庭の省エネのコツをまとめた「家庭の省エネハンドブック」を作成し、全受診者に送付。事後調査も行いました。CO₂削減量は、310t-CO₂、削減率は受診者全体の排出量の15.8%でした。

（※削減量は実測値ではなく、診断後の取組内容からのみなし量です。）

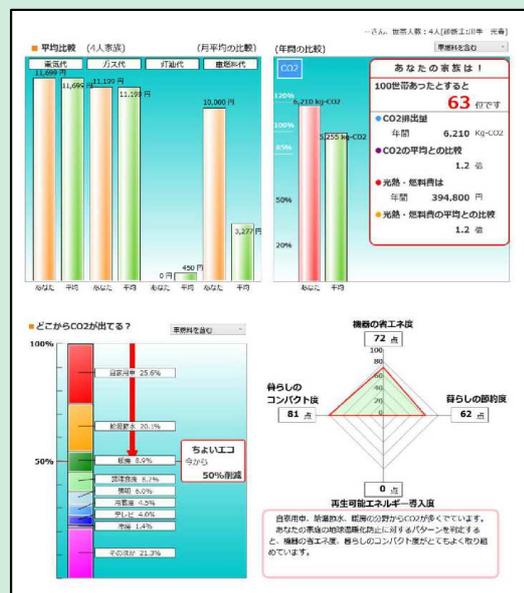


うちエコ診断件数 **467件**
 みなし削減量 **310t-CO₂**

うちエコ診断とは

家庭のエネルギー消費量や家電製品、設備機器利用状況をもとに、専用のアプリケーションをもちいて、環境省の公的資格である「うちエコ診断士」が、家庭の省エネ診断を行うものです。

「一般的な呼びかけ」ではなく、「受診された家庭にピッタリの取組と一緒に考える」点が特徴です。



京都市 省エネ行動促進プログラム実施業務

● アフターフォローの省エネ学習会

家庭の省エネ診断のアフターフォローとして、「電気代高騰に備え、省エネ術を知ろう」というテーマで省エネ学習会（11回実施：156名参加）を実施しました。家庭でできる省エネの体験談をはじめ、導入コストや電気代削減率等の具体的データを共有することで、省エネ行動を後押ししました。

EV試乗会を京都市南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」にて、（一社）日本自動車販売協会連合会京都支部、京都日産自動車株式会社、京都三菱自動車販売株式会社と連携して実施しました。

参加者は一般道の周回コースを最大3種類の車種に実際に乗って比較体験ができました。



省エネ学習会



EV試乗会



京都府地域センターうちエコ診断実施機関

● うちエコ診断士登録と研修

環境省の「うちエコ診断」事業の診断実施機関として、うちエコ診断士の研修を行って、診断士の登録と派遣を行いました。登録診断士23名。



福知山市脱炭素クラスター創出業務研修プログラム

● 福知山市事業者向け研修会・セミナー

福知山市に立地する事業所の社員・職員が先進事例などを学ぶ研修プログラムとして福知山市事業者向け研修会・連続セミナーを開催しました。

第1回：再生可能エネルギー 1月20日 オンライン形式

- 「再エネ電力導入等のエスペックの脱炭素の取り組み」
- 「PPA(電力購入契約)・リースによる再エネ導入の紹介」
- 「信用担保型太陽光設置支援制度の紹介」

第2回：脱炭素社会への移行体験 1月30日 市民交流プラザふくちやま
体験型研修プログラム カードゲーム「2050カーボンニュートラル」

第3回：環境経営・カーボンクレジット2月14日 長田野工業センター 講堂

- 「環境経営と中小企業版SBTについて」
- 「Jクレジットとクレジット活用方法と活用事例の紹介」
- 「福知山市からのお知らせ『プラットフォームで進めていく取組について』」

第4回：実践(補助金・制度) 3月13日長田野工業センター 講堂

- 「令和7年度環境省取組と補助事業について」
- 「令和7年度脱炭素に関する京都府の支援制度について」
- 「福知山市のプラットフォームで進めていく取組について」

福知山市脱炭素関連課題解決プログラム

～今すぐできる～

事業者のための
脱炭素連続
セミナー

参加費無料

連続セミナーですが、1回だけでもご参加いただけます。

事業者のための脱炭素連続セミナー

第1回 再生可能エネルギー
2025年1月20日(月)13:30～15:30
Zoomウェビナー

※主催 福知山市 ※協賛 京都府環境政策推進センター ※協力 京セラ株式会社、
*クレジット購入 日本クレジット協会 ※レポート 福知山市環境政策推進センター、
*事務局 長田野工業センター環境政策推進センター



市町村連携イベント支援

市町村と連携し、イベントでの啓発を実施しました。



11/17(日)
まいづる環境フェスタ



12/7(土),8(日)
エコフェスキづがわ



3/9(日)
みやづSDGsフェスタ



3/9(日)
よさの環境みらい2025

市町村職員対象オンライン研修プログラム

地方公共団体実行計画(事務事業編)の実施に係る全庁職員を対象とした研修プログラム(動画およびオンラインアンケート)を企画。宇治市、綾部市、京田辺市、京丹後市、木津川市、久御山町、与謝野町、舞鶴市、の8市町から申込があり、計1,215人の職員が参加しました。



「市町村と連携した地域脱炭素推進」の全体像と主な成果

<京都市委託 省エネ行動促進プログラム実施業務>

家庭の省エネ診断(うちエコ診断)調査票配布(25団体等)

京都市委託分 445件の診断実施 みなしCO₂削減量296t-CO₂(事後調査票182件の分析結果)

家庭の省エネハンドブックを作成し、受診者全員に配布

フォローアップ学習会11回156名

<京都府地域センターうちエコ診断実施機関>

うちエコ診断士(23名)登録

うちエコ診断士対象研修会2回実施

<福知山市脱炭素クラスター創出業務研修プログラム>

福知山市事業者向け研修会・セミナーの開催(4回の連続セミナー)

<市町村連携イベント支援(舞鶴市、木津川市、宮津市、与謝野町)>

まいづる環境フェスタ、エコフェスキづがわ、みやづSDGsフェスタ、よさの環境みらい2025

<自主事業 市町村職員対象オンライン研修プログラム>

市町村職員向けオンライン研修プログラムの提供 8市町、1,215人受講

4 その他

● 講師・委員派遣等 (主なものを抽出して掲載)

委員・役員等

<京都府>

- ・京都府環境審議会
- ・地球温暖化対策プラン検討会議委員
- ・再生可能エネルギー導入促進プラン検討委員
- ・京都丹波スマート環境推進プラットフォーム検討会
- ・京都環境フェスティバル実行委員会委員・監事
- ・地域脱炭素化促進区域設定基準に関する 専門委員会
- ・地域脱炭素化に向けたESG投資研究会
- ・地域脱炭素・京都コンソーシアム

<国-環境省近畿地方事務所>

- ・近畿地域エネルギー温暖化対策推進会議
- ・気候変動適応近畿広域協議会委員

<団体等>

- ・(公財)京都市環境保全活動推進協会事業運営委員、プログラム・人材育成小委員会
- ・京都知恵産業創造の森 京都スマート社会推進連携会議
- ・京の木製品認証協議会 理事 ・京の木製品認証 審査員

<市町村>

- ・福知山市 環境審議会委員
- 同 福知山市企業交流プラザのありかた検討会委員
- ・宇治市 環境保全審議会委員
- ・向日市 環境推進会議委員
- ・長岡京市 生活環境審議会委員
- ・京丹後市 美しいふるさとづくり審議会
- 同 地球温暖化対策実行計画協議会
- ・木津川市 環境審議会委員
- ・久御山町 環境審議会委員
- ・京田辺市 環境基本計画推進委員会
- ・京都市 京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム委員

講師派遣 (講演会・研修・事例報告等)

<京都府>

- 6/1,7 高校生による気候変動学習プログラム
- 7/30 省エネマイスター講習会
- 8/1 中丹東・西保健所 再エネ工作教室

<団体等>

- 6/16 京エコロジーセンター「ボランティア研修③」
- 11/10 精華町環境ネットワーク会議「STEP講演会」
- 12/15 宇治田原町社協等「あらかきふれあいサロン」
- 3/19 コンシューマーズ京都「第24回烏丸二条連続講座」

<その他>

- 10/7 全国市町村国際文化研修所(JIAM)
「2050CN」

<市町村>

- 5/30 宇治市 課長・副課長対象研修
- 7/11 宇治市 中小企業のお得な省エネセミナー
- 7/12 向日市 環境庁内推進会議 研修「2050CN」
- 7/22 宇治市 ゼロカーボンツアー
- 7/24 向日市 むこうdeカボの学び舎 再エネ工作教室
- 8/7 木津川市 パンダミッション ゼロの秘密を探せ!
- 8/23 久御山町 第3回省エネ対策学習会 再エネ工作教室
- 10/3 宇治市 事業者 社員研修
- 12/15 京丹後市 地球温暖化のお話
- 12/17 京田辺市「環境セミナー」
- 2/10 木津川市 課長級等対象研修「2050CN」
- 3/26 城陽市「地球温暖化防止教室」

※「2050CN」=カードプログラム2050カーボンニュートラル

調査研究

理事、スタッフは、地球温暖化防止に関する学術研究も行なって、発信しています。

法人総会

6/29にNPO法人総会をZoomと会場のハイブリッドで開催。意見交換を行いました。



池田泉州銀行



ご寄付

池田泉州銀行 SDG's 私募債『絆ふかまる』を通じて、寄付申出者の株式会社ホームライフ様の指定により、ご寄付をいただき、有効に活用しました。



脱炭素型のステキな京都をつくるため、

入会のご案内



NPO法人 京都地球温暖化防止府民会議の会員になって、

一緒に**活動**しませんか？

正会員・準会員・
賛助会員のいずれも、

▶ 京都府内の気候変動対策に関する情報が届きます（メールや資料の郵送等）
会員交流会（情報交換、ネットワーキング）に参加できます



正会員

NPO法人 京都地球温暖化防止府民会議の総会に出席する等、運営に積極的にかかわって活動できます。

年会費
個人2,000円／団体3,000円



準会員

総会での議決権はありません。
情報が欲しい方、ネットワーキングに参加したい方。

年会費
個人2,000円／団体3,000円



賛助会員

総会での議決権はありません。
資金面で直接支援したい方。
※貸出用環境教材や活動支援の充実等に活用させていただきます。

個人・団体ともに
年間1口10,000円から

活動を**支援**してください！

京都府温暖化防止センター／NPO法人京都地球温暖化防止府民会議への支援は2つの方法があります。

寄付

任意の金額から
詳細は事務局へお問合せください

- 個人様、団体様、企業様より、環境貢献の一環として、ご寄付をいただいています。独自の方法（売上の一部を寄付。サービスの提供等）でご寄付いただくことも可能です。
- みなさまからお寄せいただいた寄付金は、温暖化防止活動・気候変動対策のさまざまな活動に有効に活用し、大切に使用させていただきます。
- 差し支えなければ、ご寄付いただいた団体・企業様のお名前をホームページにて紹介させていただきます（PRにもご活用いただけます）。

協賛

詳細は事務局へお問合せください

- ホームページにバナー広告を出していただくことでご協賛ください。
- イベントの景品（エコ商品）提供、協賛金の提供等でご協賛ください。

まずは、情報をお届けします。

メールニュース登録「KCfCAニュース」にご登録ください。
Webwarming+subscribe@kcfca.or.jp に空メール送信



SNSにご登録ください。

